



# 北陸連携市民会議ニュース

## 創刊号



発行：2007年12月25日

**北陸連携並行在来線等活用市民会議**  
〒920-1161 金沢市鈴見台4-2-22  
事務局 090-3355-4638(清水)

### 研究の進捗状況について

北陸連携並行在来線等活用市民会議は、今年9月17日の設立総会から月2回ほどのペースで金沢に集まって少しずつ研究を進めてきました。

私たちが一番、力点をおいているのは利用者の立場にたった中身です。どんな形態がいいのか、まだ、具体的な枠組みは決まっていませんし、議論は国や各自治体の協議会などで続いていくと思います。しかし、利用者あつての在来線の活用であるわけですから、私たちは持続可能な方策はもとより、あくまでも利用者が使いやすい在来線のあり方を提示していきたいという認識で臨んでいます。

そこで、利用者にとって、鉄道は、公共交通一般にも言えることですが、運賃、ダイヤ、そして駅の場所に、関心があるところだと思います。その意味で、当研究会では、直江津から金沢間、金沢から敦賀間において新駅を設けることや、在来線の経営では敬遠されがちな快速電車を走らせるなど、北陸本線ならではのの中身を検討しています。

その前提には、今日の石油高騰、環境対策としてのモータリシフト（流通及び移動手段で環境負荷の少ないものを選択できるようにする）など、持続可能な国づくり、まちづくりを踏まえる必要があるからです。ということで、これからも上記した内容について入手できる既存のデータと独自調査をもとに、根拠と運営内容を研究していきたいと考えています。その中間発表は来年、3月中を予定しています。

### 《研究項目》（予定）

はじめに

#### 第一章 日本海沿線の北陸新幹線が果たす役割

- 1-1 鉄道の現状
- 1-2 北陸新幹線の現状と役割

#### 第二章 利用者が望む鉄道とは

- 2-1 新駅新設
- 2-2 ダイヤ（直江津—金沢間、金沢—敦賀間）
- 2-3 運賃
- 2-4 乗り継ぎ  
（枝線や私鉄・LRT、バス、自転車との結節）

#### 第三章 利用者が願う「ちょっと工夫」雑記帳

デザイン戦略、区間毎の最適な使い方、接客設備、利用者感覚の活用、通学定期割引、自動車通勤・利用ではできないことを可能に！、生活シーンに対応する、ICカードの活用と応用、ファンを増やす etc

#### 第四章 並行在来線となる北陸本線ならではの機能

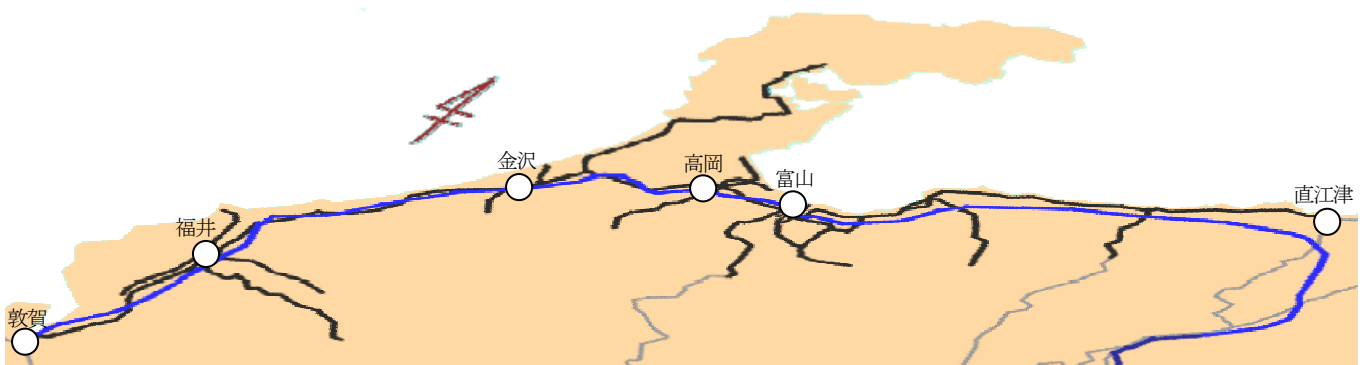
- 4-1 高規格仕様がもたらすもの
- 4-2 貨物需要がもたらすもの

#### 第五章 経営の見通し（便益からの予測と努力）

- 5-1 経営形態について
- 5-2 旅客からの売り上げ
- 5-3 国の支援策
- 5-4 運営努力（利用促進策）

まとめ

地域住民、自治体、事業者が一体となった取り組み、枝線、私鉄、バスなどが連携した取り組みを行う。



# 研究経過報告

これまでの研究成果として、第二章2-1と第三章の一部を報告します。

## 第二章 利用者が望む鉄道とは

### 2-1 ダイヤ

利用者が望むダイヤとは、.....

(ダイヤといっても何かラットか、ではありません)

富山駅の時刻表を作ってみました.....

☆関西・中京方面からの特急は、金沢で打ち切ることなく、富山まで乗り入れ。

☆新潟方面の特急を存続。

☆毎時、きっかり発車で分かりやすく。

☆特急追い越しによる待ち時間をなくす。

☆枝線との接続を良くする。

☆新幹線の福井方面への開業時も同様に、特急は快速として充実させる。

## 第三章 利用者が願う「ちょっと工夫」雑記帳

検討中のもののなかから、いくつか紹介します。

### ●デザイン戦略

鉄道を子供の憧れの対象に戻せないだろうか。最近の鉄道車両の塗装はコスト重視で、金がかからないよう、単色塗りにテープ貼りという味気ないものになってしまっている。コストの問題はあるがデザインをもっと重視

するべきではないだろうか。北陸の並行在来線では、子供の憧れの対象となるような電車、さらには住民に大きなインパクトを与えるような電車を走らせたものだ。デザインのできることは限られるものの、富山ライトレールや万葉線の成功でデザインの役割も再認識されている。デザイン戦略が必要だ。

### ●利用者感覚の活用

電車に、疲れを感じずに乗っていただける時間は30分前後。誰と話していてもそのような共通の認識を得られる。そういえば、乗車時間30分前後の大阪一神戸間、大阪一京都間、東京一横浜間などの利用は特に多い。また、特急や快速は乗っていて非常に楽。その点、対自動車の競争力・商品価値は高い。これは「感覚」でしかない。証明は難しい。しかし、結構共通の認識となっている。われわれは鉄道の活用方法やダイヤ編成、商品設定を考える場合、このような「利用者としての感覚」をむしろ重視し、活かすべきではないか。それが他のセクターの提言と差別化できる部分ではないだろうか。

### ●自動車通勤・利用でできないことを電車では可能に！

通勤途中に新聞を読む。読書をする。仕事をする。パソコンで作業する。駅弁を食べる。入れたてのコーヒーを飲む(駅・車内販売)。携帯等でテレビをみる。寝る。移動時に6人以上で乗る。酒を飲んで乗る。トイレの心配がない(駅・車内にトイレ完備)。等々。自動車ではできないが電車ならできることがたくさんある。その長所を徹底して伸ばすことが必要だ。

# 富山駅時刻表

	高岡・金沢方面					魚津・糸魚川方面			
0									
1						00青ニ			
2			20大キ		48大ニ				
3									
4								45新キ	
5			30大ニ	40名	45金ホ	50金			40直
6		15大	20金		50金		15糸	42新	45糸
7	03岡	15大	18金	35名	38高	48金	00黒	15糸	45泊
8	05金	15大	18大ト	25高	40金		00東	15糸	42新
9	05大	10金		35名	40金			15糸	45黒
10	05大	10高		35名	40金			15糸	42新
11	05大	10高		35名	40金			15糸	45黒
12	05大	10高		35金	40金			15糸	42新
13	05大	10高		35名	40金			15糸	45黒
14	05大	10高		35金	40金			15糸	42新
15	05大	10金		35名	40金			15糸	45泊
16	05大	10金		35金	40金	55高		15糸	42新
17	05大	10金	25高	35名	40金	55高	00札ト	15糸	45泊
18	05大	10金	25高	35金	40金			15糸	42新
19	05大	10金			40金			15糸	45泊
20		10金		35福	40金			15糸	42長
21		10岡			40金			15糸	
22		10高			40金			15糸	30青ニ
23					40高				30上ホ

- 大 = 大阪
- 福 = 福井
- 金 = 金沢
- 岡 = 福岡
- 高 = 高岡
- 東 = 東富山
- 黒 = 黒部
- 泊 = 泊
- 糸 = 糸魚川
- 直 = 直江津
- 長 = 長岡
- 上 = 上野
- 新 = 新潟
- 青 = 青森
- 名 = 名古屋
- 札 = 札幌
- \* かがは、夜行列車の略名
- ニ = 日本海
- キ = きたぐに
- ホ = 北陸
- ト = トワイライト
- \* 急行・能登は北陸に統合